

新庁舎建設等基本計画の策定に向け答申

刈田町長に答申書が手渡されました

3月29日（金）、湧別町新庁舎建設等基本計画の策定に係る新庁舎に求められる機能、規模、その他新庁舎建設等基本計画の策定に必要な事項について、湧別町庁舎等検討委員会（基本計画）の高橋直司委員長から刈田町長に答申書が手渡されました。

今回の答申は、管内の先進事例視察を含めた4回にわたり検討委員会で検討・審議が行われたものがまとめられたものです。

答申を受け刈田町長は、「本当に時間のない中、答申いただき誠にありがとうございました。これまで自治基本条例に基づき手続きを進めていますように、今回策定します基本計画を基本としながら、今後進める予定であります基本設計、実施設計に取り組んでまいりたいと考えています。」と感謝の気持ちを伝えました。

今後は、答申の内容を町として検討し、基本計画に盛り込むべきかなどを判断した後、議会への説明、町民説明会の開催、パブリックコメント（意見募集）を実施し、基本計画の策定を進める予定です。

※審議の詳細内容はこちら



町ホームページ



1月10日の第1回から4回にわたり視察・検討・審議が行われてきた「新庁舎建設等基本計画」についての答申書を手渡す高橋委員長

今後のスケジュール

答申内容を基本計画に盛り込むかべきかなどを町として検討



議会への説明
町民説明会の開催
パブリックコメント



基本計画の策定

答申の主な内容

- 視察した際にZEBReady（ZEBを見据えた高断熱化・高効率な省エネルギー設備を備えた建物のこと）の取り組みの説明を受け、とても良いものだと感じた。その様な取り組みを町が率先して導入していただきたいので、検討ではなくもっと前向きな文言にしていきたい。
- 今後の基本設計・実施設計において、将来的な人口減少やデジタル化などを見据えながら、さまざまな変化に対応可能なシンプルで機能的な使いやすい庁舎となるよう努めていただきたい。
- 議会中継の環境整備についてはすでに記載されているが、開かれた議会を目指すのならば、インターネットでの発信をぜひ実施していただきたい。
- 近年の著しい物価高騰などを踏まえ、将来の財政的な負担も考慮し、建設費・維持管理費などの低減が図られるよう努めていただきたい。

